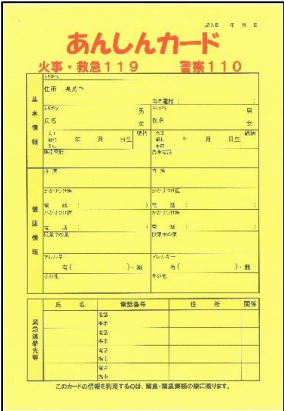


令和6年度 脇町地区地域福祉活動計画実行委員会 活動記録（1/2）

（有事に備えて一人ひとりが取り組めることを発信し、住み慣れた地域で安心した暮らしができる地域づくりを目指す）

取り組み	活動の内容	評価
防災・防犯/つながり(支えあい) ○小地域生活支援ネットワーク 活動情報交換会の開催  	日 時：令和6年6月11日(火) 場 所：穴吹農村環境改善センター 参加者：42名(小地域生活支援ネットワーク、実行委員、関係機関、事務局) 内 容 防災について講話 「自助・共助・公助の協働」 講師：美馬市危機管理課 防災対策監 中山 博之 氏 ●実行委員会 活動紹介 実行委員 香西 孝史 ●地域支え合いマップ紹介 実行委員 大久保 孝雄 ●グループワーク・発表 ・小ネットの取組について ・支え合いマップの取組について ・講話について(質問)	今年度は、小ネット結成件数を増やすため、小ネットを結成していない地域の自治会長へも案内文書を送付した。結成していない地域5自治会の会長が参加してくれた。その後1自治会が小ネット結成してくれた。今後も自治会への支援を継続していく。小ネットが結成されていない地域からの参加もあったことから、地域のきずなづくりや見守り活動の人材育成につながることができた。 また、社協職員から最大震度7を観測した能登半島地震の派遣報告を受け、災害に対する備えが必要と感じ、防災についての講話に至った。事後アンケートにおいても、「防災・防犯について」が最も関心が高かった。 参加者からは『美馬市での災害リスクや、備蓄品についてなど、知らなかったことが多々有り参考になった。地域の方にも教えてあげたい』などの感想があり、南海トラフ地震対策や平常時の見守り活動の大切さをより知る機会となった。
○ふれあい・いきいきサロン 交流会の開催  	日 時：令和6年10月29日(火) 場 所：美馬市地域共生交流施設「小星ベース」多目的ホール 参加者：41名(サロン住民、実行委員、関係機関、事務局) 内 容 ●「拝中なかよし会」活動発表 講師：なかよし会 共同代表 佐藤 章子氏 脇川 芳久氏 西浦 伸一氏 藤岡 昇氏 佐藤 壽一氏 ●グループワーク・発表 ・拝中なかよし会活動発表を受けて ・自分たちのサロンについて(工夫していることなど) ●実行委員会 活動紹介 実行委員 佐藤 かつ子	地域で活発に活動されている「拝中なかよし会」の活動について報告いただいた。 少子高齢化や人口減少している中、サロンや小ネット等、別々に活動しては、活動がままならないため、お互いが協力し合い連携を図りながら地域力を高め活動を行っている。 参加者からは『拝中は後継者の育成が素晴らしい。しかし、地域差があってなかなか難しい』『防災士が7名いるのには驚いた』などの声が聞かれた。 また、グループワークにおいては、お互いのサロン運営の工夫など意見交換ができ、日頃の悩みなどを共有し、解決に向けての手がかりになった。
○あんしんカードの推進   	●より一層カード活用を高める為、新たな啓発チラシを作成し配布した。 (救急車を呼ぶ「もしも…」の時、災害時の安全と安心を守るために活用してほしい) ●関係者・関係機関と連携したカード啓発 ・令和6年6月11日(火) 小地域生活支援ネットワーク情報交換会 ・令和6年7月23日(火) 脇町地区民生委員児童委員協議会定例会 ・令和6年10月29日(火) ふれあい・いきいきサロン交流会 ・令和6年11月24日(日) 「脇みちを歩こう」ウォーキング大会 ・他各種サロンなどで啓発 体調不良等で、 離れて暮らす家族に 連絡をとる時、備えて おくと安心で便利です。 ぜひ記入を！	美馬市では高齢化率がR6年度約40.7%と全国平均の29.1%を大きく上回っている。独居世帯や高齢者世帯も増加傾向にあることから、脇町地区民生委員児童委員協議会定例会や住民が集まる交流会、ウォーキング大会、地域のサロンや小ネット等で、あんしんカードの必要性を周知し配布した。 また、集落支援員と連携し、自治会長等へ携帯用あんしんカードの啓発を行った。 幅広い年代に啓発したことで防災意識も高まり、つながり(支えあい)への意識づけにつながることができた。 
○美馬市総合防災倉庫(小星)見学    	日 時：令和6年7月25日(木) 場 所：美馬市総合防災倉庫(小星) 参加者：11名 内 容 ●危機管理課 中山対策監・松浦課長より防災倉庫について説明。	防災意識を高めるため、美馬市総合防災倉庫の見学を行った。 防災倉庫は物資の中継拠点であり、市民の方が直接物資を受け取る場所ではない。支援物資は指定避難所等で受け取る。また、避難所へ行っていないくても、脇町武道場では誰が行っても支援物資を受け取ることができることなど、美馬市での災害時の防災倉庫の役割について学ぶことができた。

令和6年度 脇町地区地域福祉活動計画実行委員会 活動記録（2/2）

（有事に備えて一人ひとりが取り組めることを発信し、住み慣れた地域で安心した暮らしができる地域づくりを目指す）

取り組み	活動の内容	評価
環境 ○ペットボトルキャップ回収運動 	●啓発物(回収運動ポスター、分別協力依頼)の作成と周知 ●各団体へペットボトルキャップ回収運動説明 ●集まったエコキャップ回収分別作業と換金 ・1回目 令和6年 8月22日(木)350kg ・2回目 令和7年 2月14日(金)630kg ●車椅子贈呈式 令和7年3月19日(水)    ※過去7年間：分別数量4776.5kg 車椅子購入台数7台	美馬市内全域で幅広く浸透したことから、エコ活動や環境美化意識の向上につながり、エコキャップ回収分別作業量も増加した。今年度も車椅子を購入することができ、今回は岩倉小学校で活用いただくこととなった。 また、脇町高校JRC部の皆さんや一般ボランティアの方に、エコキャップ回収分別作業やポスター作成にご協力いただくようになり、環境美化啓発やボランティア活動参加のきっかけづくりにもつながった。  
健康 ○「脇みちを歩こう」ウォーキング大会の開催（ノルディックウォークの啓発）  	日 時：令和6年11月24日(日) 場 所：(株)みなみ倉庫裏から別所大クス 参加者：167名(住民、実行委員、学生ボランティア 関係機関、事務局)    	毎年恒例のウォーキング大会は、地域交流の場（機会）として、子どもから高齢者まで世代をこえて楽しめるイベントになっている。 今年度は参加者の「大クスだけを見て帰るのでは物足りない。」といった声から、大クスでくじ引きを行った。 今回は穴吹高校JRC部の皆さんにボランティア活動を依頼し、写真ボランティアや運営ボランティアを行いながら、実行委員や参加者との交流にもつながり、地域での活動を知ってもらう機会にもなった。 前年度より参加者も増加し、毎年参加してくれている方にもウォーキングやくじ引きを楽しんでいただき、健康増進や運動習慣の推進を行うことができた。